

洞爺湖温泉小 防災教室

備えの大切さや
避難所生活学ぶ

パネルディスカッション「有珠山との共生」火山地域のサステナブル持続可能なまちづくり」を行つた。取り組み事例を紹介したポスターセッションもある。胆振西部1市3町の住民は参加無料。

31日には現地研修会が洞爺湖周辺で行われ、同マイスターと金比羅火口災害遺構散策路など過去の有珠山噴火遺構を3コースに分かれて回る。

担当者は「洞爺湖有珠火山マイスター制度を柱とする防災の取り組みを火山地域にある全国自治体へ伝えたい」と意気込んでいる。

問い合わせは火山砂防フォーラム幹事会事務局(町総務課自治防災室)、電話0142・74・3000へ。

生活科・総合的な学習の一環、高学年の14人はNPO法人洞爺湖有珠火山PMO代表理事と山マイスターネットワークの阿部秀彦代表理事と1977年の有珠山噴火で倒壊した旧三恵病院跡地でバスの移動。阿部代表理事は当時の入院患者らに事前避難準備をしていたからと説明。きちんと準備をしていれば、噴火の時でも慌てることなく避難できる」とまとめた。低学年は校内で段ボールベッドを組み立てるなどして避難所生活学んだ。

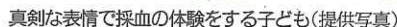
6年生の高橋珠太さんは「噴火に備えて準備する大切さを感じた。さらに知識を深めたい」と学びに意欲を示した。

1978年10月24日、前年に始まった有珠山噴火と豪雨に伴った大規模な泥流災害で、同校の男子児童を含む3人が犠牲になった。同校ではこの日を「慰霊の日」に定めて防災教室を実施。次世代へ記憶をつないでいる。

(西川悠也)

「気分はお医者さん」

【洞爺湖】洞爺湖町など主催のお仕事体験フェスタinとうやが町内洞爺湖温泉の洞爺湖文化センターで開かれた。子どもたちが、楽しみが、どうも憧れの職種、一端に触れ興味を示していた。たくさんのお仕事を「みて」「きいて」「体験して」なりたい仕事をみつけようをテーマに19日に開催。町内の医療、介護法



赤ちゃんのお世話体験など色々。子どもたちは目を輝かせながら取り組んでいた。

(奥村憲史)

行つ。このほか9月の土雨による災害復旧費などの専決処分を承認した。

(奥村憲史)

◇訂正 28日付3面「年末調整の変更点確認」の記事で「所得税が課される年収の上限が 123万円に引き上げられた」とあるのは「所得税が課されない年収の上限が100万円に引き上げられた」の誤りでして、おわびして訂正します。

【壮瞥】壮瞥町議会は28日、第4回臨時会を開いた。1千万円を追加し、総額49億9600万円と定めた、2025年度一般会計補正予算案など議案1件を原案通り可決、またこれを承認、閉会した。

主な一般会計の補正は、主として、商工費、観光費に1千万円、公共事業費のついで、駐車場の整備費、

冬囲いでシートがかけられる蒸気機関車

サツマイモ見～つけた！

ふたは保育所園児が収穫 伊達
【伊達】伊達・ふたは保育所（松本
博江所長、105人の年長児22人が、
伊達市館山下町の同園庭でサツマイモ
の収穫を行い、実りの秋を楽しんだ。
サツマイモは6月に園児たちが苗を
植えた「紅はるか」。近隣住民から苗
を譲り受け収穫の秋を迎えた。園児た
ちは手づるを引っ張り、土から出て
きたたくさんのイモを見て「あった」
と満面の笑み。力を合わせて26kgを収
穫した。

サツマイモ掘りは食育を兼ねた同園
の恒例行事。来月の「焼きいも会」で、
他の園児たちにも振る舞われる。

(西川悠也)

時計・メガネ・
補聴器・宝石のことなら
専門家のいる
当店へ
お任せ下さい!

瑞寶雙光章
株式會社アイエス商事代表取締役社長
夫寺島茂之（八十八歲）儀、
かねて入院療中のごと
ろ、十月二十六日午前二時
二十分永眠致しました。こ
こに生前のご厚情を深謝
し、謹んでお知らせ申し上
げます。

おつて葬儀は左の通り執り行います。
一、通夜 十月十九日 午後十時
一、葬儀 十月三十日 午前十時
一、告別式 十月三十日 午前十時
一、式場 伊達清場すくらぎ伊達市舟岡
町一九・十二（伊達230983）
伊達市館山町三十三番地三
喪主寺島ハツ子
寺島長男寺島亨
寺島長女毛利寿美
寺島次女寺島佐知
寺島ほか親戚一同